

八幡岳周辺ブナ・ミズナラ希少個体群保護林

希少-05

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 福島森林管理署 白河支署
所在地	福島県 須賀川市
面積	214.21 ha
設定年	2013(H25)年 4月
保護林の概要 (設定目的)	八幡岳周辺は、ブナ林下に生育するシロヤシオ群落や、イヌブナ群落、低標高に降下した風衝低木群落等の特徴的な群落とともに、ブナ、ミズナラ、クリ、コナラ等からなる冷温帯落葉広葉樹の代表的な林相が形成されている。このため、シロヤシオ群落、イヌブナ群落のほか、冷温帯落葉広葉樹が優占する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2018年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナ・シロヤシオ群落、ミズメ・イヌブナ群落の生育地において調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	ブナ、ミズナラの後継樹は少ないが、母樹である上層木のブナ、ミズナラ、イヌブナは健全に生育している状況である。また、上層木にシロヤシオは少ないが、低木層には優占種として確認される。目立った鳥獣害や病虫害の発生も確認されておらず、本保護林は健全な状態である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。